

2020.9 柏市地域防災リーダー講習会

先進組織の取り組み及び

K-Net制度の運用について

西山町会防災会の活動

柏市防災研究会

西山町会の環境



- 松戸市との境に位置
- 654軒1662人
- 65歳以上 42%
(2020.4時点 * 柏市のホームページより)

* 柏市25.8% (2019.9末時点)

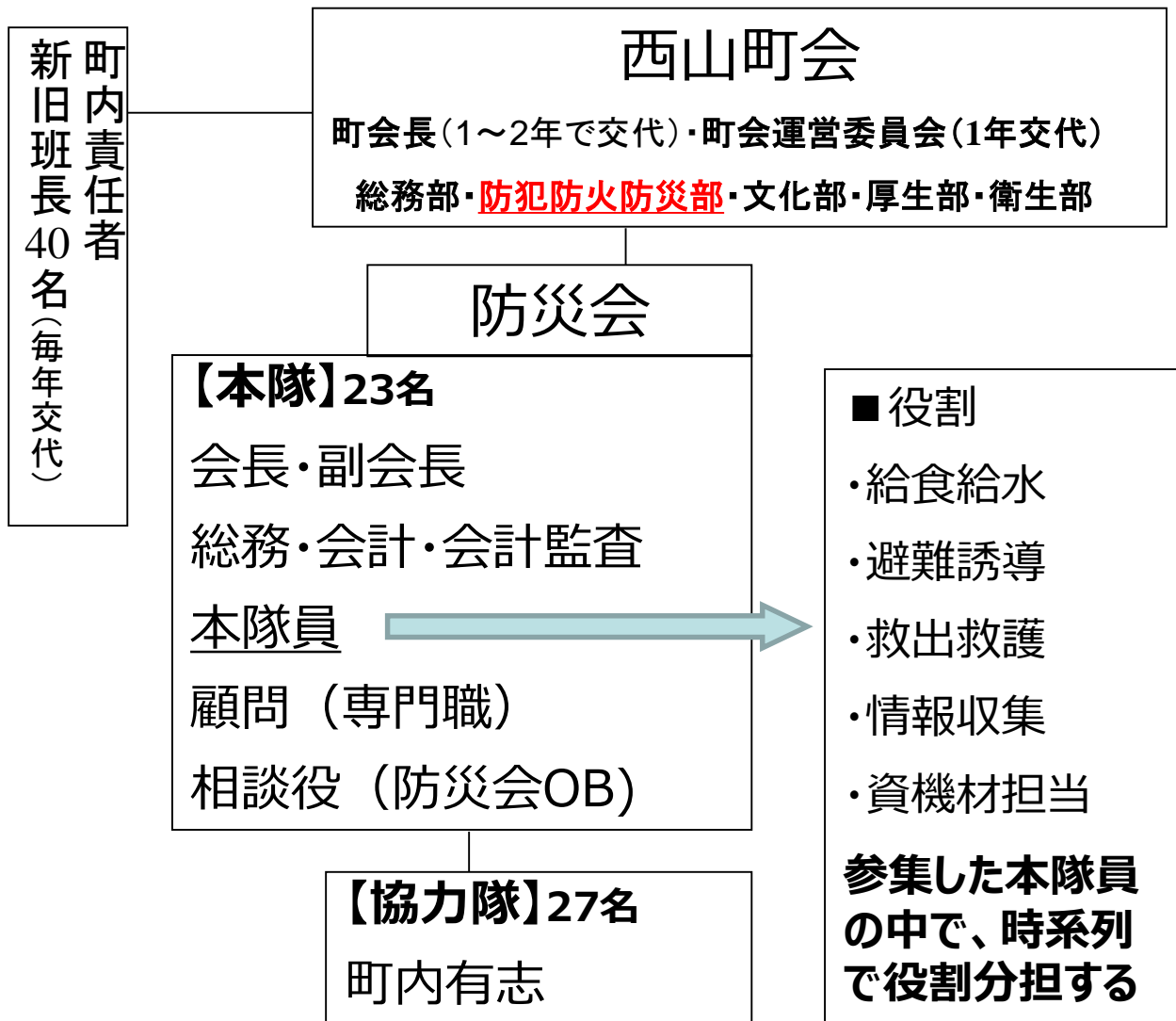
昭和47～52年分譲の
戸建住宅地
⇒1/5が分譲当時の建物

最近では1軒あったところに2軒建つ
⇒木造が密集してきているエリアがある

西山町会防災会

本隊員・協力隊員合計 50 名

令和2年4月末現在



本隊員任期2年・再任可

(2年で交代した本隊員はいない)

◎ そもそも防災活動って何？

- 1) 災害は防げない。でも被害を減らすことはできる⇒減災活動
- 2) 災害が起きたら対応しなければならない⇒災害対応活動
- 3) 災害後の復旧活動

◎ それぞれの活動のポイントは？

◎ 減災活動 ⇒いのちを守るための備え

◎ 災害対応活動 ⇒いのちを助ける



混乱している時間を少しでも短くすること

◎ 復旧活動 ⇒一日も早く元の生活に戻ること

それぞれの内容は？

減災活動 いのちを守るための備え⇒啓発活動

- 1) 家の耐震化
- 2) 家の中の安全化 ガラスの飛散防止・家具の転倒防止 など

災害対応活動 いのちを助ける

- 1) ご近所の安否確認
- 2) 救助・応急手当
- 3) ライフラインが止まっているときの炊き出し など

避難所の運営

混乱している
時間を少しでも
短くすること

復旧活動 一日も早く元の生活に戻ること

- 行政との連携（ライフラインの復旧など）
- ・水・食料・簡易トイレなどの備えをしておく など

西山町会防災会活動のポイント

減災啓発

災害対応

平常時

自分の命家族の命は

自分が守る！

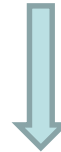
⇒減災啓発活動

災害時

外からの応援が期待できるのは、
3日目から！

その3日間

町会・自治会・自主防災組織は
何をすべきか？

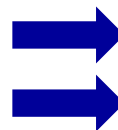


★防災会の主な訓練 (各年1回)

①全戸安否確認訓練

②避難所運営訓練

③炊き出し訓練



発災直後を想定

一般的な防災訓練（防災会発足当時）

- 1) 訓練時間に住民さんに最寄りの1カ所に集まってもらう
- 2) 旗を立てて、会場になる広場に誘導
- 3) 消防署に来てもらって、水消火器などの訓練を実施
- 4) 消防職員の講和を聞いて、アルファ米などお土産を渡して終了

無駄ではないけれど、自主防災組織の
災害対応ってこれ？

災害で何が起こり、どう対応するかを考え
なくちゃいけないんじゃないの？

災害の中で地震は突然&地域全体に起きる！

◆阪神淡路大震災のとき

救出された人の95%以上がご近所・家族に助け出された。

その一方、救出が進むマンションの隣の平屋で、誰にも知られずにひっそりと亡くなった方もあった。

◆行政からも、町内の被害状況の報告を求められる。

 **ということは、自主防災組織の最初の活動は
安否確認！**

そこで防災会発足2年目の平成14年（2003年）から

“大地震！おとなりは大丈夫？”

西山の備え

資機材保管場所



★資機材は定期的に運転確認を実施

公園4ヶ所と会館倉庫に保管

各物置には責任者名明記

- 投光器 4台
- 発電機 5台
- チェーンソー 4台
- 担架 4台
- リヤカー 4台
- 炊出し釜 2セット
- 20人分救急 4セット
- 救助工具 4組
- 油圧ジャッキ 4台
- 車いす 2台

その他

無線機・消火器・ロープ
など

西山の備え

ふるさと会館内納戸

災害対策本部で使用するものをすぐに、
誰でも持ち出せるよう明示



アルファ米と飲料水の備蓄

掲示札・文房具など (老眼鏡を準備)



シニアの視点

安否確認訓練の推移

平成13年（2001） 防災会発足

第1回（2002） 全戸安否確認

第2回（2003） 全戸安否確認と被害状況報告

第3・4回 被害状況報告（100枚札使用）

第5回（2006：H18）～第10回（2011：H23）

支援者によるK-Net登録者（要支援者）

の安否確認と被害状況報告

第11～18回（2019：R1）

全戸安否確認と被害状況報告

K-Netの取り組み

柏市は

- ・柏市防災福祉K-Net（要支援者の把握と支援活動）
- ・平成18年 モデル地区4地域で取組み開始（西山もモデル地区）

柏市が民生委員などを通して、災害時に手助けが必要な希望者を募り、名簿を町会に下ろした

町会自治会は支援者を探して、要支援者とマッチング

- ・平成20年～全市で実施

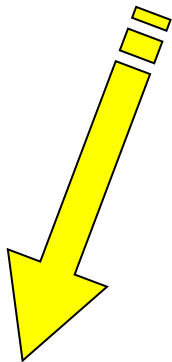
名簿を渡された町会・自治会のとまどい
「支援者を募れ！」って言われても・・・

当初「要援護者」と呼んでいたが平成25年災害対策基本法の改定により「避難行動要支援者」に変更。以降「要支援者」と記載します

安否確認とは

自宅に居て大きな地震が起きた時
ほとんどの人がすることは！

- ① 自分と家族の安全確保・安否確認
- ② 外へ出て周りやご近所の様子をみる
- ③ 外へ出て来ていないご近所があったら
- ④ ドアをたたいて声をかけてみる = 安否確認



異常を感じたら

他のご近所と中へ入ってみる

自力で動けないでいたら助けを呼ぶなど救助行動につながる

K-Netは「支援を希望する人のところへ、事前に決めておいた人が安否確認に行くという制度」と理解！

西山のK-Netの取り組み

1) 1年目 (2006年) 柏市からの名簿は**33**名

そこで町内で独自のフローチャートを作成して、
要支援者と支援者を同時募集

もっという、
という実感

結果：登録要支援者数**50**名 支援者**68**名

2) 2年目から  災害時避難行動要支援者

年度初めに町内独自の登録票を全戸配布
現在は要支援者登録票と支援者登録票を同時配布

3) 15年目の今年 要支援者数**116**名

うち独居30名 7/12現在

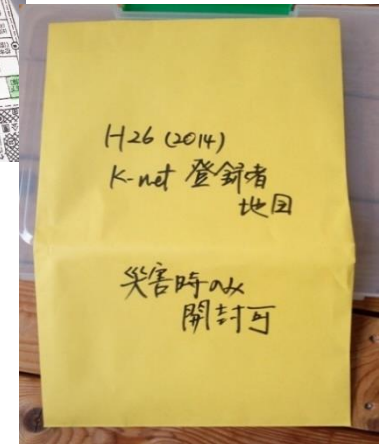
支援者登録数 約166名

要支援者1名 (軒) に対し支援者1~3名をマッチング

民生委員との連携



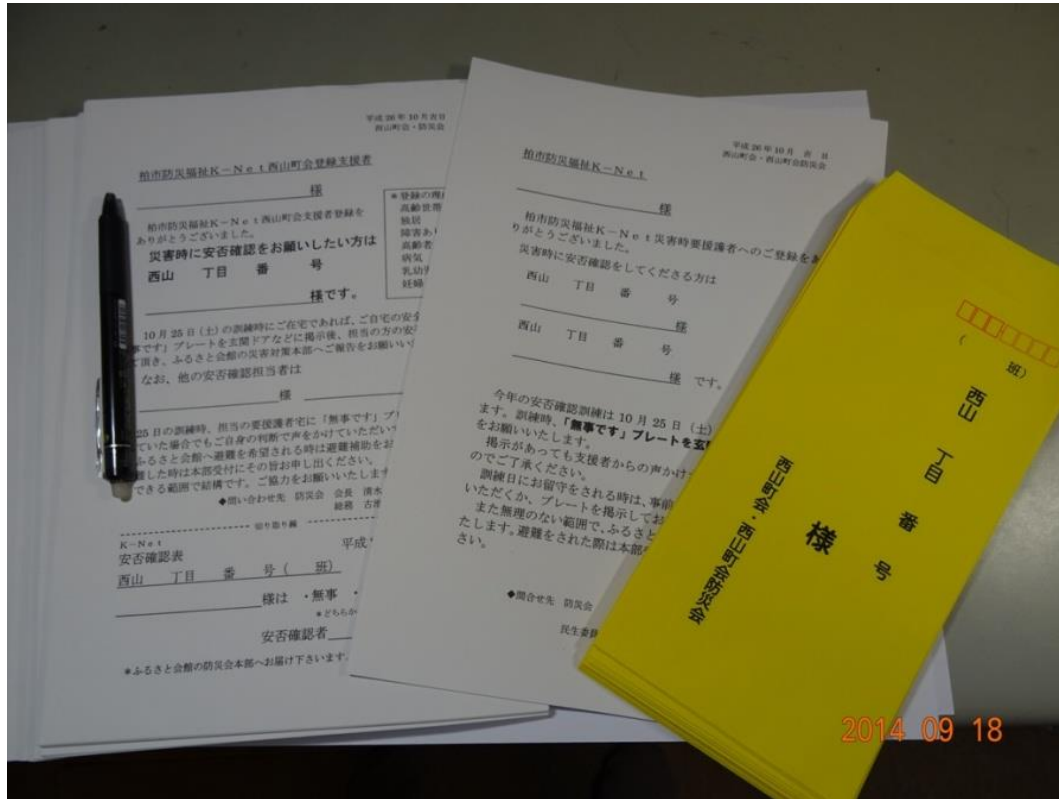
あらかじめ要支援者を地図に落としたものを用意
(管理・受付は民生委員)



- 5月中に名簿管理者がK-Net登録希望者の名簿を作成
- 以前は民生委員の声かけ訪問時に、昨年登録したが今年登録用紙の提出がない方や確認や申請がない人への登録おすすめてしてもらった。
 - ・一昨年から、登録用紙がでていない人は、辞退の申し出がない限り自動継続で処理。
- 名簿が開示できないため、訓練時は受付担当

■ 安否確認訓練日までに

K-Net登録者に担当支援者と要支援者を個別に連絡



名簿管理者で作業

- ・防災会長
- ・防災会総務
- ・民生委員2名

支援者には「安否確認のポイント」を同封

* K-Net関連で使用している用紙は、K-Netハンドブックからダウンロードできます。

柏市役所のホームページ⇒福祉政策課⇒柏市防災福祉K-Netに関すること⇒K-Net研修会資料

K-Netに取り組んで感動した事！

要支援者と支援者・支援者と支援者間で、
訓練前に**挨拶**が交わされていた！

支援者になって
下さってありがとう！

訓練の時に
安否確認に
伺いますね。

訓練日は留守に
しますので
よろしく！

始めまして！
支援者の〇〇です。

もう一人の支援者の方
にご挨拶してきます。

全戸安否確認訓練

■ 訓練日までに

- ① K-Net登録者に担当支援者と要支援者を個別に連絡
- ② 全戸に安否確認表を配布
- ③ 被害想定札の掲示依頼

負傷者の状況を「覚えて」または「調査票に記入して」
ふるさと会館災害対策本部へ報告して下さい。



■ 訓練当日

発災直前に負傷者を配置
ダミー人形2体（自作）



■ 訓練開始

全住民さんによる向こう三軒両隣の 安否確認と被害状況調査

K-Net登録者の安否確認も同時進行



2005年



火災が
発生して
います！



事前配布の安否確認表に
記載しながら確認中

被害は
ないようです

2013年～
無事ですプレートを
掲示



要支援者の方も訓練に参加

町の災害対策本部

2006年
町内に新しい会館が建つ前は広場に設置



2014年までは事前に設置

2015年から発災後参集したメンバーで設置



本部を設置している間に、報告にきた住民さんで列ができてしまうので

⇐2018年から雨天時以外テントは後回しに

実際の災害時、報告がないところは

無事なのか、留守なのか、被害にあって応答できないのか不明

町の災害対策本部は、このすべての家に人を出して安否確認をする必要がある！

そこで、ご近所さんと本部の確認作業を効率よく行うために、**無事だった家に掲示するプレート**を作成し、全戸配布した（2013）

（柏市の補助金+10で）



表面



裏面

災害時にしか使わないものは、どこにしまったか判らなくなる。そこで裏面を「防犯プレート」とし、月1回の防犯の日を定め、毎月掲示するようにした

ご近所を確認した住民さんは町の 災害対策本部へ報告



町の災害対策本部は 情報を整理



被害があったところへ救助隊を派遣
被害札の回収と怪我人（ダミー人形）の搬送を指示



救護班による仮救護所の 設置と応急手当



★旗とゼッケンは救護班の手作り



安否確認訓練はこれらの一連の訓練を毎年
実施しています

西山町会防災会 その他の活動

災害対応 避難所運営訓練



- ①西山町会が近隣町会に呼びかけ10年間避難所運営訓練を実施
- ②2019年避難所運営委員会設置（柏市の補助金+10で）
- ③幹事町会として参加



避難所運営委員会で運営マニュアル実践版を作成

地震災害時の
避難所運営マニュアル

柏市立酒井根西小学校
実践版

対象町会・自治会
酒井根町会（※世帯数1000）
栗山町会（※670）
西山町会（※635）※幹事町会
わさび丘町会（※110）
ペルドムール柏自治会（※63）
青嵐台のり自治会（※31）

【避難所の運営は、避難所運営委員会で初動を行い、
落ち着いてきたら、避難者の中から互選した委員で行う】

酒井根西小避難所運営委員会
2020.2 酒井根地域ふるさと協議会作成（第1版）



★各種掲示物は事前に作成し、学校体育館に保管

災害対応

持ち寄った食材を使った炊出し訓練

災害時を想定し、

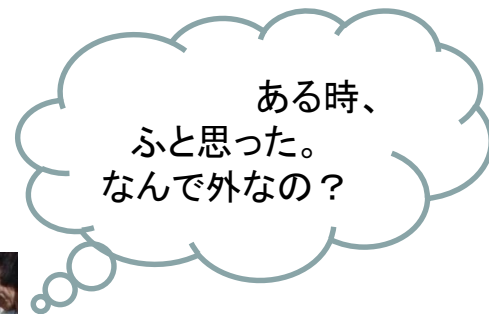
「今、台所にある食材」を持ち寄る。
毎回**20種類以上**の食材が集まる。



主婦の知恵
満載！



●サラダ



2014年 ●みそ味の汁



【災害対応】

炊き出し訓練（ポリ袋調理）

持ち寄った食材：メニュー検討中



会館前に炊き出し釜を設置



時期：2月

場所：ふるさと会館

寒い時期に外で作業することはない…。



ポトフ風スープ

- ・高年齢・体調不良などで会館に
来られない方へ出来上がった
料理を配達

■ 西山町会の問題

① 高齢化率42% (2020.4)

② K-Net支援者自身も高齢化

昨年支援者だった方が今年是要支援者に！



ある班は18軒中6軒が要支援者登録
+ 登録していない独居2軒有り(2019年)

圧倒的な支援者不足

実は防災会本隊員も高齢化・・・

■ 問題解決のために

★ 向こう三軒両隣の安否確認を強化!!

(K-Net登録者でもお元気な方もおられるのでお隣の安否確認を！)

★ 防災会本隊員は1本釣りで補充!!

(狙い目は65才以上！)

★ 災害時・訓練時は若い助っ人を活用

町会の若い役員が受付担当



おやじの会メンバーが搬送担当



指示を出す防災会高齢役員

訓練をすること（町会・自主防災組織）

災害発生時：空白の10時間（情報空白期）

○地域がどうなっているのかわからない

○何をしてよいのかわからない

= 混乱期

その空白時間を埋めるのが訓練

繰り返すことで自然に身体が動くようになる

・シェイクアウト・小学生の避難訓練・保護者引き取り訓練 などなど

■ 今年の訓練予定（感染症拡大防止に配慮して）

- 安否確認訓練 西山の住民は安否確認が身についている。
今災害が起きたら、安否確認して報告に来る方が必ずいる。
その時本部はどうするか？ 対応を検討し、検証のための訓練を行う予定
- 避難所運営訓練 今年には体育館を使わず、校庭の使い方など、少人数で外での訓練を検討

【まとめ】

- 災害対応力は災害時を
どれだけイメージできるかにか
かっている！
- 災害時はそこにあるものの
中でしか活動できない！
★これからは備えの中に感染症対策用品も
- 災害時はやってきたことしか
できない！



【まとめ】今まで防災活動をしてきて感じていること

西山はこれだけ準備してきていますが、本当の災害を体験していないので実際にどこまで動けるのか自信がありません。

でも

「防災」という活動は地域の中に

人と人のつながりを作っている！ということ

を実感しています

防災会メンバーと♪

K-Netの要支援者と支援者♪

民生委員♪

町会役員・町会内活動グループ♪

特に 向こう三軒両隣！

何より大切なことは

**あなたが、最初の3分を生き延びること！
命が助からなかったら何も始まりません！**

仙台市の被災女性27歳の声

「震災後に、過去に作られた防災マニュアルを見直してみたら、自分の身に起こったこと、何が必要だったか、そのすべてが書かれていました。先に知っておけば被災や不安、避難所での困った状況を小さくできたと思います。」

**ひとつ備えればひとつ安心が生まれます！
ぜひ備えを！そして地域での活動を！**

ホームページ: 柏市西山町会防災会 www.kashiwa-bousai.com/

36

ご視聴ありがとうございました。